

## 広島県縮景園及び広島県立美術館に係る指定管理者の候補者の選定について

広島県縮景園及び広島県立美術館の指定管理者について、広島県指定管理者選定委員会文化部会（以下「文化部会」）での審査を踏まえ、指定管理者の候補者を次のとおり選定した。

### 1 指定管理者候補者

候補者	イズミテクノ・広島緑地建設・広田造園共同事業体
代表者	株式会社イズミテクノ 代表取締役 本田 雅彦
住所	広島県広島市西区商工センター2丁目3番1号
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日（予定）
申請提案額	1,335,000千円（予定）

#### 【選定理由】

文化部会において、応募者から提出された事業計画書など、提案内容を審査基準に基づき審査を行った。

選定の主な理由として、指定管理者の候補者は、

- ・『Ⅰ 利用者サービスの向上・確保』では、外国人観光客も含めた来客への接客サービスの向上、子供企画や子供向けのスペースの設置など、意欲的に利用者サービスの向上に取り組む提案
- ・『Ⅱ 利用促進、新たなイベント提案』では、特別展に合わせたメニューの展開など縮景園及び美術館の連携を意識した取り組み、来館者へ県内観光地を案内するミュージアムツーリズムの実施、茶会の振興を支援する取り組みや講堂にアーティストを招いたイベントの実施など、多面的な利用促進やイベント提案
- ・『Ⅲ 維持管理水準の妥当性』では、縮景園においてそれぞれの特色に応じた管理区域設定による具体的な管理方針や、庭園管理技術者の育成に係る提案などが、優れていると評価された。

## 2 施設の概要

所在地	【広島県縮景園】広島県広島市中区上幟町2番11号 【広島県立美術館】広島県広島市中区上幟町2番22号
施設の設置目的	【広島県縮景園】名勝庭園を保存し、その活用を図り、もって県民福祉の増進に資する 【広島県立美術館】美術に関する県民の知識及び教養の向上に資する
現指定管理者	イズミテクノ・広島緑地建設・広田造園共同事業体

## 3 応募者

応募者名	所在地	代表者名
イズミテクノ・広島緑地建設・広田造園共同事業体	広島県広島市西区商工センター2丁目3番1号	本田 雅彦
株式会社イズミテクノ	広島県広島市西区商工センター2丁目3番1号	本田 雅彦
広島緑地建設株式会社	広島県広島市安佐南区伴南5丁目5番15号	大野 穂
株式会社広田造園	広島県広島市西区己斐上1丁目14番3号	廣田 昭
株式会社富山学園	広島県広島市中区大手町3丁目8番5号 エイトバレー大手町8階	富山 太朗

## 4 広島県縮景園及び広島県立美術館指定管理者選定状況

### (1) 文化部会委員

部会長	原田 英樹 (広島県環境県民局文化芸術課長)
委員	越智 ようこ (広島県縮景園友の会副会長) 齋藤 忠一 (作庭家) 田和 久秋 (広島県立美術館友の会事務局長) 西本 秀子 (社会保険労務士) 藤本 寛之 (公認会計士) 三好 久美子 ((公財)ひろしまこども夢財団理事長, 余暇開発士) ※ 委員の順番は50音順

(2) 審査基準及び結果等

広島県縮景園の名勝庭園を保存し、その活用を図り、もって県民福祉の増進に資するため、また、広島県立美術館の設置目的である美術に関する県民の知識及び教養の向上に資するため、安定的な維持管理を図ることが重要であることから、『Ⅲ 維持管理水準の妥当性』及び『Ⅳ 申請者の経営状況・信頼性』に重点をおいて審査を行った。

審査基準	審査の項目	配点 ウエイト	応募者の得点 (※応募者名は 3のとおり)	評価及び選定理由
I 利用者サービスの向上・確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開園（館）時間、休園（館）日などは利用者ニーズに的確に応えたものか。</li> <li>・施設及び付属設備の利用について円滑に管理運営される見込か。</li> <li>・利用者等からの要望や苦情等への的確な対応ができるか。</li> <li>・利用者の安全対策が取られているか（緊急時の避難体制、日常的な危機管理方法等を含む）。</li> <li>・縮景園・美術館の連携について隣接したメリットを生かした魅力的な提案がなされているか。</li> <li>・利用料金の設定は適切か。</li> </ul>	15	12.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまで受付業務を委託してきた企業を共同企業体の構成企業とすることで外国人観光客も含めた来客への接遇サービスの向上を図るほか、子供企画や子供向けのスペースの設置など、意欲的に利用者サービスの向上に取り組む提案が評価された。</li> <li>○縮景園及び美術館の一体管理を意識した開館日や利用時間の設定の提案について評価された。</li> </ul>
II 利用促進, 新たなイベント提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用状況等の目標設定は適当かつ現実的か。</li> <li>・利用促進策, 利用者増への取組がなされているか。</li> <li>・施設の効用発揮のための魅力的な提案がなされているか。</li> <li>・県施策への協力等に係る考え方はどうか。</li> <li>・特定の者等に有利な利用とならないか。</li> </ul>	15	12.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別展に合わせたメニューの展開など縮景園及び美術館の連携を意識した取り組み, 来館者へ県内観光地を案内するミュージアムツーリズムの実施, 茶会の振興を支援する取り組みや講堂にアーティストを招いたイベントの実施など, 多面的な利用促進やイベント提案が評価された。</li> </ul>

<p>Ⅲ 維持管理水準の妥当性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽・池水管理は仕様書基準を満たしているか。</li> <li>・警備・清掃等は仕様書基準を満たしているか。</li> <li>・施設の修繕や設備交換に関する取組がなされているか。</li> <li>・設備・機器等の保守点検は仕様書基準を満たしているか。</li> <li>・植栽管理業務の実績やノウハウを有しているか。</li> <li>・庭園管理技術者の育成、確保について適切な提案がなされているか。</li> </ul>	<p>20</p>	<p>15.4</p>	<p>○縮景園においてそれぞれの特色に応じた管理区域を設定して具体的な管理目標を設定する方法、不具合マップを導入した施設内の不具合を見える化する取り組み、過去の管理実績から一定以上の維持管理水準の確保が見込めることなどが評価された。</p> <p>○若手職員のための定期的な他施設の視察を実施する等、庭園管理技術者の育成に係る提案が評価された。</p>
<p>Ⅳ 申請者の経営状況・信頼性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の執行体制（安全管理・労災）が安定し、配置数は適正か。</li> <li>・財務状況は健全か。</li> <li>・不測の事態への対応（保険等）はどうか。</li> <li>・個人情報取扱が適切に行えるか。</li> <li>・県との連携、協働体制に係る考え方は適切か。</li> <li>・責任者常駐の有無等、責任体制は確保されているか。</li> <li>・業務や安全管理等に対する職員研修等の充実度はどうか。</li> <li>・再委託を行う場合の内容及び委託先は適切か。</li> <li>・有資格者、経験者の配置状況は適切か。</li> </ul>	<p>20</p>	<p>14.3</p>	<p>○複数の他施設の管理実績を有するとともに、企業の経営基盤の確かさや人材の質と量、これまでの管理運営の実績も踏まえ、信頼性が高いと評価された。</p>
<p>Ⅴ 申請者の取組姿勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の目的・公共性の理解度はどうか。</li> <li>・地域や関係団体等との連携体制が取れるか。</li> <li>・事業計画やプレゼンにおける申請者の取組姿勢はどうか。</li> </ul>	<p>10</p>	<p>9.4</p>	<p>○施設の公共性について理解しており、名勝庭園の管理等の専門性を必要とする業務についての体制など、誠実で積極的な姿勢が評価された。</p> <p>○変革する中央公園エリアに隣接する縮景園・美術館の在り方を視野に入れた上で、他施設との連携など、利用者増及び利用者の満足度向上の施策を検討していることが評価された。</p>

VI 申請提案額（金額評価）	最低提案金額 ÷ 申請者の提案金額 × 10 （※ 小数点第1位まで求める。小数第2位切捨て） （指定管理期間の全体額（5年間分を合算）） なお、申請者の提案額が、管理費用基準額を上回る場合は失格	10	10.0	○提案額は、県の示した管理費用基準額の範囲内であった。 ○管理費用基準額：1,337,050千円 申請提案額：1,335,000千円
VII 申請提案額の実現性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請提案額と事業計画は整合しているか。</li> <li>・経費の効率化の方策の内容は妥当か。</li> <li>・収支計画書の内容は適切か。</li> </ul>	10	7.4	○グループ企業のスケールメリットを活用した購買コストの縮減、小規模修繕の内製化など、経費の削減を図り、効率的な運営を提案している。一方で、自主企画イベントなど魅力ある提案による収入確保を目論んでいることが評価された。
合 計 点 数		100	81.9	

※本結果は、7名の委員の平均点によるものである。